

2021 アートマイル国際協働学習プロジェクト 報告書

日本学校名 [熊本県立八代高等学校] 担当教諭名 [遠山 規子] (1・2年希望者 20名)

相手国・地域 [台湾]

海外学校名 [Siaogang Senior High School] 担当教諭名 [Tai-Shia Bau / Siou-Min Huang
Yi-Ching Chen Janice Tseng / Tiffany Ho]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	総合的な探究の時間	「SDGsを学ぶ」「SDGsで課題発見」	11
	総合的な探究の時間	「課題研究 コース別プロジェクト」「振り返り」	16
	自主活動	放課後・休日の自主活動	25

■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	THE POWER OF YOUTH
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	若者にも世界を変える力がある。 お互いの文化は違っても、私たちは互いの個性を大切にする精神を持っている。 互いの伝統を守り、住み続けることのできる街を作っていこう。 文化理解を通して、世界中の結びつきを強めよう。
	

■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> SDGsの学習や壁画制作を通して、社会の中での自らの在り方について考えを深めていた。 これまで見ていたようで見えていなかった街の課題を発見し、生徒たちの地域理解が深まった。 海外の人とコミュニケーションを取ることに對する不安感や抵抗感が減った。 	<ul style="list-style-type: none"> アートマイル事業のカリキュラムモデルと校内のカリキュラムとをうまく融合することができず、特に秋までの段取りがうまくできなかった。 八代の伝統を守るために具体的な行動を考えていたが、休校が相次ぎそれを実行に移す機会を持てなかった。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
<ul style="list-style-type: none"> 自他の文化を大切にしようとする思いが強まった。 海外の人と意見を共有する楽しさと難しさを知ったことで、国際感覚を磨きたいという生徒が増えた。 世界や地域の現状、SDGsについて学びを深める中で、当事者意識を持つようになった。 	<ul style="list-style-type: none"> 国際協働学習に初めて携わり、実際に生徒同士がいきいきと交流する姿を見て、多様な他者との協働の楽しさや面白さ、教育的効果の高さを実感した。 SDGsという共通のアイコンがあれば、台湾のみならずどんな国とも、意見を交わして協働していくことが可能なのではないかと気付いた。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
出会い 自己紹介	5月 ～ 7月	・SDGsを学ぶ(新聞、資料、動画) ・自己紹介を電子フォーラムに掲載	SDGsという世界共通のアイコンを活用しながら新聞や新書、電子データを読み解く手法を学び、情報活用力を高めていた。	総合8
共有 テーマ学習	7月 ～ 9月	・SDGsの達成を目指して八代地域で活躍されている方の講義を聴講 ・学んだことを資料としてまとめ、生徒同士で発表	地域で行われている様々な活性化のための取り組みや、現状と課題について学び、地域理解を深めた。	総合6
融合 メッセージ作成	10月 11月	・地元地域の現状と課題について、地域に向いて調査 ・地域の方々との意見交流会の実施。アドバイスをもらう	八代妙見祭の保全活動や地元商店街の復活に向けて取り組む人々の熱意に触れて、地域の衰退に対する危機感を抱き、地域活性化のプランを話し合った。	総合5 自主10
創造 壁画制作	11月 12月	・壁画に込めたいメッセージと壁画のデザインを相手校と決める ・壁画の制作	相手校とのオンラインミーティングで、文化と若者の力をテーマにしたいという話になった。また“私たちは空を通じて繋がっている”という話から、地球を真ん中に配置する構図になった。	総合4 自主15
評価 振り返り 自己評価	1月 ～ 3月	・ポスターセッション準備 (※コロナ禍で実施が見送られたため、次年度4月に発表予定) ・壁画の鑑賞、ふり返り	今年度中止になった八代妙見祭神幸行列に次年度参加することを目標に、次年度の具体的な動きを話し合い、ポスターとしてまとめていた。	総合4

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価 (5:とてもついた 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった)

学習目標・つけたい力	評価	教師がそう感じた場面と理由
異文化・自文化を理解する力	4	生徒たちは相手校から届いたスライドに感動し、台湾の文化との共通点や相違点に関心を持ったため。さらに昨今のロシアウクライナ情勢と重ね合わせ、「こんなふうに互いの文化を大事に思える世界になってほしい」と話していたため。
批判的に思考する力 (客観的・論理的視点)	4	生徒たちは、今回の台湾との交流がきっかけとなり、台湾の文化や歴史に関心を持った。また、新聞やテレビのニュースでのみ知っていた中国と台湾との確執について、歴史的背景を意識しながら客観的に捉えるようになったため。
主体的に考え行動する力	4	スケジュールが遅れ、短期間で絵を描き上げる日程になったが、生徒たちは放課後や休日も使って集中して描画に取り組み、壁画を完成させたため。
多様な他者と対話・協働する力 (海外の相手と対話・協働)	4	相手校とのオンラインミーティングの際に、相手の言葉の意図を汲み取りながら意見を共有していこうとしていたため。また、同じ地球人として伝統や文化を大切にしていこうという思いを共有していたため。
想いを言葉や形にする力 (メッセージ作成・壁画制作)	5	生徒たちは、台湾の生徒の意図も汲み取りながら、壁画を作ることができたため。また壁画制作を通して、国際協調のあり方や自分たちの使命にまで思いを馳せることができたため。